

科目名	更生保護制度					単位	1.0
担当教員	西村 公雅						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	2112

●授業のテーマ

更生保護制度の理解

●到達目標

罪を犯した者の更生及びソーシャル・インクルージョンに関する指導と援助活動を、更生保護制度を通して学ぶほか、更生保護と社会福祉との関係の在り方などについて考察する。

●学習内容(授業概要)

更生保護制度の概要、担い手、更生保護と関係機関・団体との連携、医療観察制度の概要、就労支援を中心とした生活自立支援などについて理解を深めた上で、更生保護制度が当面する諸課題と展望を明らかにする。

●学習内容(授業計画)

- 1 更生保護の意義とその沿革
更生保護の意義、更生保護の沿革、更生保護の理念
- 2 刑事司法の中の更生保護
成人の刑事手続、少年保護事件の手続、更生保護の役割
- 3 仮釈放
仮釈放の意義、仮釈放の機関、仮釈放の種類、手続
- 4 保護観察総論 7
保護観察の目的、保護観察の種類と期間、良好・不良措置
- 5 保護観察各論
各種処遇施策
- 6 生活環境の調整
生活環境調整の意義、手続、特別調整の概要、就労支援
- 7 更生保護における犯罪被害者等施策
犯罪被害者等基本法、更生保護における犯罪被害者等支援制度の概要
- 8 更生緊急保護と更生保護施設
更生緊急保護の意義、実施の原則・内容・手続、更生保護施設の概要、更生保護施設の処遇
- 9 恩赦
恩赦の沿革、恩赦の種類と効力、前科抹消と資格の回復
- 10 犯罪予防活動と民間協力組織
犯罪予防活動の意義と内容、社会を明るくする運動の概要、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主
- 11 更生保護の担い手
保護観察の機関、保護観察官、保護司
- 12 更生保護における関係機関・団体との連携
関係機関・団体との連携の概要
- 13 医療観察制度
医療観察制度の意義、医療観察制度の流れと概要、医療観察制度における保護観察所、社会復帰調整官の役割と業務

14 更生保護と福祉

更生保護と社会福祉の共通点と相違点、更生保護と福祉の連携の在り方 15 更生保護制度の課題と展望

更生保護制度改革の概要、再犯防止対策の概要と課題

●準備学習・事後学習の内容

教科書を一読しておくことが望ましい。

●成績評価方法・基準

平常点 40%

試験の成績 60%

●テキスト（必携）

書籍名：更生保護入門、著者名：松本勝等共著、出版社：成文堂

※ 2015年3月中に改訂版が発行される予定です。発行されれば改訂版を使用 します。

●参考文献／その他

講義時に紹介する。

●履修上の注意

特にない。